

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KICONA泉佐野店	階数	地上2F
建設地	大阪府泉佐野市南中安松	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,745時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2020年7月28日
敷地面積	21,112 m <sup>2</sup>	作成者	山川 雅也
建築面積	3,518 m <sup>2</sup>	確認日	2020年7月28日
延床面積	7,086 m <sup>2</sup>	確認者	山川 雅也



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.9
耐用性	3.0
対応性	2.5

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・地域環境	2.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	4.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	N.A.
地域環境	3.6
周辺環境	3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
外観の色彩については、基調色に彩度を抑えた色を使用し、アクセント色に活気のある色を使用することで、街並みに調和させ、地域性及びアメニティの向上に努めた。	(特記事項なし)
<b>Q1 室内環境</b> 有害物質の少ない建材を使用し、十分な換気に努め、室内空気汚染の低減に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> バリアフリー等の機能性を考慮し、建物全体としての耐久性及び更新性を高めるように配慮した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> (特記事項なし)	
<b>LR1 エネルギー</b> 空調や換気、照明等の設備機器については、エネルギー効率を高めるよう配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水等を考慮し、水資源保護に努めた。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車・駐輪スペースに配慮し、交通負荷の抑制に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0104

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)KICONA泉佐野店						
	建設地	大阪府泉佐野市南中安松						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価						—
②	みどり・ヒートアイランド対策							2
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					1.0	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						—
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						—
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							